

【保護者様へ】

初めまして、作文小論文専門学院の横矢充広と申します。これから宜しくお願い致します。
早速、内容について説明したいと思います。

読書量とテレビやゲームの関係性など、淳司君は素晴らしいことに気づいています。あとは、まとめ(四枚目の用紙)の(1)に注意するとよいでしょう。(特に、(1)の段落構成をマスターしましょう。これだけでも随分よくなりますからね。)

(当学院の添削指導につきまして)：当学院の添削指導は、その場限りのものではありません。次回につながる指導を心がけています。今月よりも来月、そしてまた次へと成長できるように考えています。ひとつひとつマスターすれば、目標を達成できるはずですからね。

(考える力を育てましょう)：今回の添削とは関係ありませんが、とても大切なことなので説明しておきますね。中学入試では、課題文や資料などを見てから書くタイプが多くなっています。その中には、グラフや写真を見てから書く問題もあります。当学院の毎月のカリキュラムをこなしていけば、どのような問題でも発想できるはずですが、生活の中で「考える習慣」を身につけておくといよいよ。お勧めする方法は、次の二つです。

←

- (1) 自分で「問い(疑問)」を作って、自分で答える。：難しいことを考える必要はありません。例えば、スポーツについて考えてみましょう。
(例)「スポーツは勝てばそれでよいのか?」このような疑問を作ってみるのです。そして、そのことについてYesかNoか考えるのです。スポーツとは何なのかを考えれば分かることですね。プロスポーツは、お客様あってのものですよ。そうであれば答えはNoですね。お客様に喜んでもらう必要がありませんからね。このように、「とは何か」を考えながら答えを探すと力がついてきますよ。
(2) 何かを見て、どんなことが発想できるか訓練する。：(例)青空を見て何を感ずるか。(例)汚れた海を見て何を感ずるか。

(表現力につかまして)：テキストの模範解答を繰り返し読むとよいでしょう。(覚えてしまうほど読み込むことで、文章のリズムや表現力が身につきますからね。)